

ワイズスクランブル

自民若手「消費税増税凍結を」 官邸や党に提言へ

自民党の若手議員による「日本の未来を考える勉強会」はデフレからの完全脱却に向けた経済政策として、消費税の10%への増税凍結などを求める提言を明らかにした。

《ようやく出てきた自民党議員による消費税凍結を要求する正論。》

ワイズが書いてきた内容とほとんど一致する。

「大型連休後に首相官邸や党に提出し、政策への反映を目指す。」というのだから国民はこぞってエールを送るべきだろう。

提言ではアベノミクスで名目GDP（国内総生産）が増加したものの、2014年

の消費税増税で消費が縮小して「再デフレ化に直面している」と分析。

「この状況のままでは自民党政権の信任にも関わると危惧（きづ）される」と指摘する。

そのとおり!!

2019年10月に予定される10%への増税については消費税の常で「かえって税収を縮小させ、財政を悪化させるリスクが大きい」と強調し、「減税を視野に、最低でも増税凍結が必要」と盛り込んだ。また基礎的財政収支の黒字化目標は大規模な財政出動を妨げているとして撤回を求めている。

勉強会は自民党のあんどろ裕衆院議員（京都6区）が呼び掛けて主宰し、当選3回までの衆院議員と当選1回の参院議員が参加している。

ワイズは衆院議員／税理士 あんどろ裕氏の「日本の未来を考える勉強会」が直球ど真ん中ストライク!であると思う。



あんどろ裕 衆院議員

